



52名参加！新年会盛りあがる



山下会長のご挨拶



誕生会を代表して佐久間さんのご挨拶



小亀さんのハーモニカの伴奏で「都の西北」を



○3月度定例役員会

日 時 3月4日(土) 13:00～14:30
場 所 ふるさと歴史館・視聴覚室
役員会の前にニュース107号封入作業があります。

○第44回東村山雑学講座

日 時 3月4日(土) 15:00～16:30
場 所 ふるさと歴史館・視聴覚室
演 題 「一人よがりの超大国アメリカー日本のとるべき進路ー」
講 師 関 陽 一 氏
昭和33年東京大学英文科卒業
テレビ朝日入社、報道局
モスクワ、西ドイツ・ボン、チェコ・プラハの各支局長、
63年解説委員、平成5年熊本朝日放送常務、平成13年退職
現在フリージャーナリスト、東京都生涯学習センター講師
テレビ朝日に在職中、海外取材は40ヶ国以上で、ベトナム、中東、アフガン等
5つの戦場も取材、モスクワ特派員の体験から米ソ超大国の対決とそれ以後の国
際情勢を追いつけておられ、一方、外交、憲法、教育など日本がとるべき進路を
考 察される。質問大歓迎とのこと。

○会費納入(1月28日迄受付分)有り難うございました。(会計幹事)

**飯塚輝雄、川合幸雄、紅松喬、紅松容子、小林俊治、高橋英夫、多田実、戸田志郎、
比留間光信、守屋幸一郎、安田忠治。**

会費未納の方(56名)には、郵便振替用紙を同封させて頂きました。平成17年度
(平成17年10月～平成18年9月)分です。

お問い合わせは会計幹事(井垣)TEL04-2924-2934まで。

行き違いになりました場合はご容赦下さい。

○新年会出席者

赤荻洋一、朝木吾朗、石塚征雄、石井久長、井垣和太、井原徹、伊藤友己、江藤昌明、
小野智、大西幸夫、岡田一郎、風間和夫、木谷肇、木谷夫人、紅松喬、紅松容子、
久世利夫、小山幾造、小林俊治、小亀輝雄、小林傳、河野憲一、佐久間厚、杉山信、
鈴木国夫、高部素行、高鷺近、高橋正夫、田口政澄、高橋鶴次郎、田島隆夫、高橋文子、
月森通夫、當間昭治、戸田志郎、長井治、内藤慎、成田豊太、額田伊久夫、野田数、
野村保夫、藤澤博恭、福田昇七、堀田秀夫、松永常尚、三宅良太、守屋幸一郎、
安田忠治、山下邦康、山下夫人、安井四郎、南部宣行(講師)。 52名
有賀傳、芦田均、上素子、吉田勝の4氏は諸事情により当日欠席(会費支払い済み)

第43回東村山雑学講座報告

平成18年1月21日（土）
ふるさと歴史館視聴覚室

「教育の無償制は是か非か」 講師 南部宣行氏（早稲田大学教授）

西洋経済史研究をやっている先生が、なぜ「教育の無償制は是か非か」などという題で、正月の東村山雑学講座で講演をするのか、「関係ねーだろうが」と腹の中で思いながら、聞き始めたのは、会場の30名中で私一人ではなかった筈・・・。

1時間の講演後に、「なるほどナー、学問というのはこういうことなのか。歴史を観るというのは現在の状況分析の道具を見つけることであり、将来を予測する物差しを手にするものか。」と学生時代の講義のあのような、解った気分になったのは私だけ？

①経済史とは何か②経済史研究の成立と確立の過程について、18世紀後期のアダムスミスに始まり、イギリスに於ける経済史学会の創設（1926）、20世紀初頭には独立した経済学の一分野として確立されたものであるとの講師の担当科目の紹介がなされた。「経済史研究は現代の問題を解くためにも役立つ学問である。歴史は繰り返すというが、繰り返すのではない。似たような現象は起こるが、同じ事ではない。また、昔から今へと発展してくるという発展進化論があるが、自分の見方は異なる」と、講師は研究を通じての基本的な考え方を披瀝された。

そこから教育の無償制度という現代の問題を経済史研究視点から考察する本題に入り、先ず、イギリスにおける教育制度の変遷を辿りながら、1870年に成立したW.E.Forster法を契機に進んだ教育の無償化が、逆に教育の低水準化（保護者の無関心、教育のお役所仕事化）と、税金を使うことによる所得の不公平な再配分（金持ちが得をする）を招いたとする主張（E.G.West）等を紹介。

翻って我が国日本では、**憲法第26条【教育を受ける権利、教育の義務】**に

①すべての国民その能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利を有する

②すべての国民は、子どもに普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は無償とする。

とあり、一方 **憲法第89条【公の財産の支出又は利用の制限】**に

公金その他の公の財産は、宗教上の組織若しくは團體の使用、便益若しくは維持のため、又は公の支配に属しない慈善、教育若しくは博愛の事業に對し、これを支出し、又はその利用に供してはならない。

ともあり、公の支配しない教育（私学）への公金（税金）の支出を禁じている。

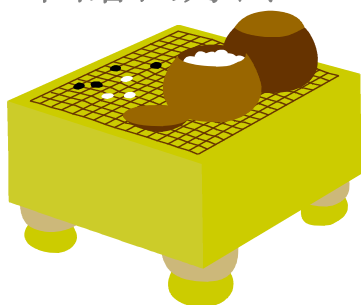
義務教育の無償制度は妥当なのか？私学助成金は憲法に抵触しないのかなど教育費公費負担（義務教育無償制、私学助成等）に対する社会的・経済的合理性・公平性の面から疑問を提し、講師の見解を示すとともに、教育費公費負担に代わる方策として、①奨学金②租税等の免税あるいは軽減措置などを提案。

戦後の状況のような時には無償制度も適当であるが、現在の様な状況の時には必要ないのではないか。最小の費用で、最大の効果をもたらす政策の合理性の面からも上記方策が妥当であると考え。経済史としてのイギリスのForster法の研究が、今日の我が国の教育の在り方を考えるのに良い材料を与えてくれていると結論づけて講演を終えられた。（文責 井垣）



同好会だより

囲碁同好会



世話人 野村保夫
高鷺近

TEL 394-0417
394-2336

●2月大会のお知らせ○

●第12回大会は、2月25日(土)午後1時～5時まで、別館第4会議室で行われます。大勢のご参加を楽しみにしています。

○この第12回大会からは、前号でお知らせしたとおり、下記の新方式によって運営したいと思います。

骨子は、級位者2リーグ(A、B)、有段者1リーグ(C)の3リーグ制とし、各リーグは総当たり制で優勝者3名を決定し、

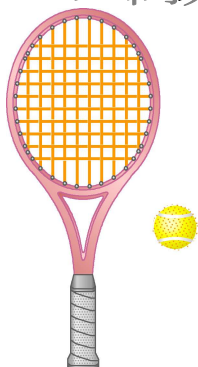
A、B両リーグ優勝者は優勝盾をそれぞれ持ち帰り、Cリーグは従来通り持ち回り制の優勝杯獲得とするという方式です。なお、予算の関係で大会参加費として「300円」を頂くこととなります。

なおこの方式は、2～3回試みてみて、改善するところがあればまた皆様にご相談して、よりよいものに発展させていきたいと考えております。

以上

テニス同好会

世話人 當間昭治 TEL 391-6023



1月の例会は9日(月)久米川コートで実施。

参加者は江藤夫妻、田島、小菅、當間に當間の叔父が加わり6名。寒さは厳しかったものの風も無く、3組でダブルスを楽しみました。

今寒さがピークですが、それぞれが自分のペースで動き、2時間があつと言

う間でした。2月と3月は下記の日程です。

記

日時： 2月 5日(日) 午前 9時～午前11時

3月 4日(土) 午前 9時～午前11時

場所： 両日とも久米川コート 3

ヨガ同好会

世話人 大西幸夫 TEL 395-2817

17年12月、18年1月の実施状況

第66回、12月23日(祭日)

参加者；飯塚夫人、大西、小山、額田、三宅婦人以上5名、風間さん不在の為、太極拳による準備賀出来ませんので、代わりに気功からはじめました。

第67回、1月8日(日)

参加者：大西、小山、額田以上3名、前回同様、風間さん不在の為、気功から始めました。

H18年2月の予定

第68回：2月5日(日) 第69回：2月19日(日)

何れも10時00分～11時30分、東村山スポーツセンター小会議室です。

旅行同好会

世話人 風間和夫 TEL 394-5279

小亀輝雄 TEL 394-6951

本年度旅行会について

5月18日(木)～19日(金)の「いわき湯本温泉」へのバス旅行を企画致しましたところ多数の方の参加申し込みを頂き有り難うございました。1月20日をもって締め切らせて頂きました。尚直接マイカー等で参加の方がおられましたら、上記世話人までご相談下さい。

カラオケ同好会

世話人 内藤 慎

TEL 393-5071



1月例会は新年会終了後開催しました。この冬初の雪が舞い散る中、赤荻、井垣、井原、江藤、小野、河野、高部、高橋、高鷺、当間、野村、松永、内藤各氏の13名寒さと初雪を吹き飛ばす熱唱又熱唱で大いに盛り上がりました。初参加の赤荻、河野、野村、松永の各氏は夫々持ち味を披露され新鮮な一夜でした。

2月は次の通り開催します。

2月4日(土) 19:00より シダックス東村山店
多数のご参加をお待ち致します。

(内藤記)

俳句同好会 (稲酔会)

世話人 高杉 修 391-8447

井垣 和太 04-2924-2934

第24回 稲酔会句会のご案内

開催月 日: 2006年2月25日(土)

時 間: 午後1時~午後4時(投句締め切り13:20)

場 所: 恩多ふれあいセンター和室(恩多町5丁目)

兼 題: 「いぬふぐり」

句会終了後「丸藤」2Fで懇親会をおこないます。

2月から発会后5年目に入ります。各回の投句を全部記録した会報も23号を数え、会員の皆さんの五七五での人生記録となっています。あなたも加入しませんか。楽しいですよ。

【いぬふぐり】いぬのふぐり ひょうたんぐさ

俳句で云うイヌフグリとは明治の初めに渡来し、各地に広がったヨーロッパ原産のオオイヌフグリのことであり、日本の原生種イヌフグリは俳句の世界では名前まで奪われてしまった俳句のいぬふぐり(オオイヌフグリ)は路傍、土手など土のあるところどこにでもはびこる。花も春とはいわず、暖かい日の当たるところなら一月でも二月でも季節に構わず空色の花が咲き続けている。果実は丸いものが二つ相接した様な形をしているので、和名は犬の睾丸の意味である。別名ヒョウタングサともいうが同じ意味からつけられたもの。

(角川俳句歳時記)

いぬふぐり星のまたたく如くなり
犬ふぐり素直な心誰も持つ

虚子
みどり女

(稲雀)

**東村山稲門会設立10周年イベント基金(目標100万円)への
寄付金ご協力に感謝申し上げます。**

1月27日現在 635,000円

ご芳名(受付順 敬称略)

山下邦康(66口)、小亀輝雄(10口)、當摩彰子・當摩照夫(10口)
井垣和太(10口)、井原 徹(10口)、宮輝雄(1口)、滝川正義(2口)、
田口政澄(3口)、比留間光信(2口)、小野智(2口)、井手巖(1口)、
風間和夫(2口)、堀田秀夫(6口)、藤澤博恭(2口)

寄付金(1口 5,000円)のお振り込みは 下記銀行口座へ
みずほ銀行 久米川支店

普通預金 1876557-01 早稲田大学東村山稲門会

※会費と一緒に郵便振替口座へ振り込まれても結構です。

基金担当 井垣

俳 壇

敷きし薫凍てつく牧の轍かな
 バーまでは踏み跡ありぬ路地の雪
 鍵かけてきて手袋のありどころ
 高杉 風至

少年に声かけられし雪も果て
 鎌倉にあたりちらして冬の雷
 狐火の吉野に一夜あそびけり
 菊田 一平

五センチにあわてふためく雪の街
 小鳥来るどこで何してきたのやら
 ひとつ消えひとつ現る冬の蝶
 井垣 稻雀

幼子は幼き息で初詣
 下駄の緒の指になじまぬ初詣
 山ありて河ありて郷里初日さす
 八木 竜湖

磯釣りの子を案じゐて冬の月
 冬銀河ものみな白き景色にて
 故郷のニュース報じる寒の朝
 大野 恵峰

文箱より散らかり初めし松の内
 山茶花のこぼれし庭に便り待つ
 鳥見えず真青の空や寒冴ゆる
 丸本 北窓
 風強し凍てつく空は冴え返り
 初日の出禱りレーに覇気満ちる
 床の間に千両活けて妻笑顔
 内藤 慎

1 月度「お誕生会」報告



1 月度お誕生会は21日の新年会の席で行われました。該当者19名のうち11名（伊藤、大西、小野、木谷、河野、小林俊、佐久間、高橋鶴、成田豊、堀田、安井）の方々が出席、河野さんの乾杯の後、佐久間さんが代表で挨拶をされました。昭和19年入学、戦時中のご苦労話が印象的でした。その後全員でのハッピーバースディの合唱と記念品の贈呈により、会は大いに盛り上がりました。お誕生会も4回目となり、定着してきた感もありますが、2月以降も皆様の協力により楽しい会にしたいと思います。

（担当幹事 當間昭治）

2 月のお誕生会は2月4日の役員会終了後、午後5時から「庄屋」東村山店で行う予定です。同じくご本人からの申告のあった該当者は下記の通りです。

岡田一郎、尾島敏雄、崎山裕子、佐藤清彦、塩見之一、高橋正夫、田島隆夫、内藤慎、長井治、夏山一彦、原田道昭、桶地正秀、福田晃、細山和男、宮輝雄

3 月のお誕生会は3月4日の役員会終了後、午後5時から久米川駅前の割烹「丸藤」でおこないます。誕生会の本人申告による該当者はつぎの通りです。

朝木、井垣、遠藤、大野、大森、紅松容、肥沼、杉山、鈴木、関、高柳、田代、豊田、細萱益田、山室

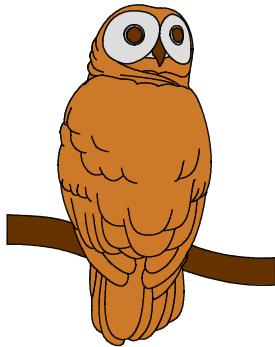
お誕生日の該当者は勿論、一般会員の方の参加をお願いいたします。きっと何か新しい出会いがあると思います。

お誕生会世話役の當間昭治（391－6023）までご連絡下さい。

多摩湖ふくろう通信 No 50

2006. 2. 3

戸田 志郎



90年代後半から所得格差が拡大している。経済的格差を測る代表的な指標のジニ係数（一に近いほど、不平等度は大）を1980年代半ば、90年代半ば、そして2000年代初めの3時点の「国民生活基礎調査」から算出してみると、0.293、0.317、0.335と明らかに不平等度が上昇している。

こうした背景からか、所得格差が広がり、社会の階層化が進んでいるとする研究が多く発表され、「格差社会論」が流行している。

『希望格差社会』の著者山田昌弘氏は、将来に希望をもてない「希望格差社会」の問題点を指摘している。日本社会は、将来に希望が持てる人と将来に絶望している人に分裂していくプロセスに入っており、

生活の不安定さが増している。この不安定化のプロセスを、将来の生活の予測可能性が徐々に低くなり、不確実性の中に立たされているという「リスク化」と戦後縮小に向かっていた様々な格差が、拡大に向かうという「二極化」という二つのキーワードでとらえることができると考えている。

『下流社会』の著者三浦展氏は、階層化が進む若者像を明らかにした。いわゆる団塊ジュニア世代と呼ばれる現在30代前半を中心とする若い世代における「下流化」傾向を指摘する。そして「下流」とは、単に所得が低いということではなく、コミュニケーション能力、生活能力、働く意欲、学ぶ意欲、消費意欲など、総じて人生への意欲が低いととらえる。

太田清氏は『フリーターの増加と労働所得格差の拡大』（2005年5月）の中で、最近の所得格差の拡大が雇用問題を背景にしていることを実証的に確認している。特に正規雇用と非正規雇用の給与格差の拡大・固定化によって経済格差が起きていると指摘する。

正規雇用は95年2月の3762万人から04年の3393万人に369万人減ったのに対し、非正規雇用は同じ期間に988万人から1547万人に559万人増えた（総務省『労働力調査』）。そして非正規雇用は若年層で急増し、在学生を除く24歳以下の非正規比率はこの間、男性で10%から27%に、女性で16%から39%に上昇している。

非正規雇用増加の背景には、人件費を削減し固定費化を避けたいとする企業心理が働いている。さらには産業構造や技術構造の変化により、高度で専門的な技術を要する仕事と要さない仕事の技術格差の拡大がある。

これにより非正社員の賃金は低く抑えられ、交通費は支給されず、社会保険や教育・訓練の機会の差別が行われている。

正社員なら、努力して能力を発揮していけば、雇用の継続、昇進が期待できる。単純労働のアルバイトでは、いくら努力しても、昇進は見込めない。派遣労働でも、多少の昇給はあっても、生涯にわたって中流生活を維持できる賃金が得られる見込みは薄い。職の継続の保証もない。

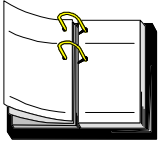
90年ごろまでは、誰でも努力さえすれば、中流生活（家を持ち、家電新製品に囲まれ、子供を大学まで通わせられる生活）を築く事が期待でき、実際多くの人がそれを実現できたが、不安定雇用のままでは、「希望」がもてない。

政府は「規制改革」により、さらにこの流れを強化している。たとえば、労働基準法の改正により原則1年に限定されていた有期労働契約の上限を3年に延長した。労働者派遣法でも同じ事業所の同一業務に派遣できる期間は1年から3年に延長され、従来禁止されていた製造業への派遣も認められた。

慶応義塾大学の樋口美雄教授は、規制改革に当って、バランスの取れた労働市場改革を進めると同時に、均等政策を強化し、厚生年金などの社会保障におけるパート労働者の労働時間や年間収入の適用基準を緩め、適用拡大を図っていく必要があると政府による土俵整備が必要であると提言する。

山田昌弘教授は、雇用が不安定な若者などは、生まれ育った中流の環境を自分で維持できないために希望を失っている。こうした不安は少子化の要因にもなっている。すべての立場の人が最低限の中流生活を送るコストを社会全体で負担する仕組みを、税制などを通じ創出しなければ、格差拡大の不安は解消できないと警告する。

空前の少子高齢・人口減少時代に、どのような社会をめざし、どのような制度体系を整えるべきか議論と実行が急務である。



今月の予定

- 4日(土)役員会
 2月度お誕生会
 カラオケ同好会
 5日(日)テニス同好会
 ヨガ同好会
 19日(日)ヨガ同好会
 25日(土)囲碁の会
 俳句同好会

3月の日程(前半)

- 4日(土)3月度役員会
 第44回雑学講座
 3月度お誕生会
 テニス同好会
 カラオケ同好会



編集局だより

編集局：小亀、伊藤

○ 新年会も無事終わり、もう2月になりました。「二月早や」という表現が俳句にあります。ついこの間新年を祝ったばかりなのにもう二月になったというような驚きと感嘆をうまく言い表しています。厳しい冬の真ただななかで、まだまだ寒い毎日ですが、それでも春のかすかな兆しを感じられます。もう少しの辛抱です風邪などひかぬよう元気でお過ごし下さい。

また前号にも書かせていただきましたが、エッセイ等原稿を是非お送り下さい、このニュースも多くの方の皆さんに登場していただきたいと思っていますのでよろしくお願い致します。
 (小亀)

○ 1月の新年会。私も少し早めに祝って頂きました。今年初めて知ったのですが、私と同じ日があのもーツアルトの誕生日でした。250年を祝うテレビを見ながら、随分違うなと食卓を見てポツリ・・・。

○ 何か偽装偽装と騒がしいのに、当の姉葉さんは表舞台からすっかり消えてしまった感じ。建築士の友人に話を聞いたら、お陰で過去の仕事の報告で結構大変とのこと。それにしても、建築基準法改正前の建物の事を考えるとぞっとするそうです。

○ 次回原稿の締め切りは1次が18日、2次が25日です。宜敷お願いいたします。
 (伊藤)

第91回オペラ鑑賞会のお知らせー清瀬稲門会ー

期日：2月12日(日) 午後1時30分～4時30分

会場：アミューホール

清瀬北口広場・生涯学習センター7階(1階りそな銀行)

曲目：R. シュトラウス 歌劇 ナクソス島のアリアドネ

(入場無料)